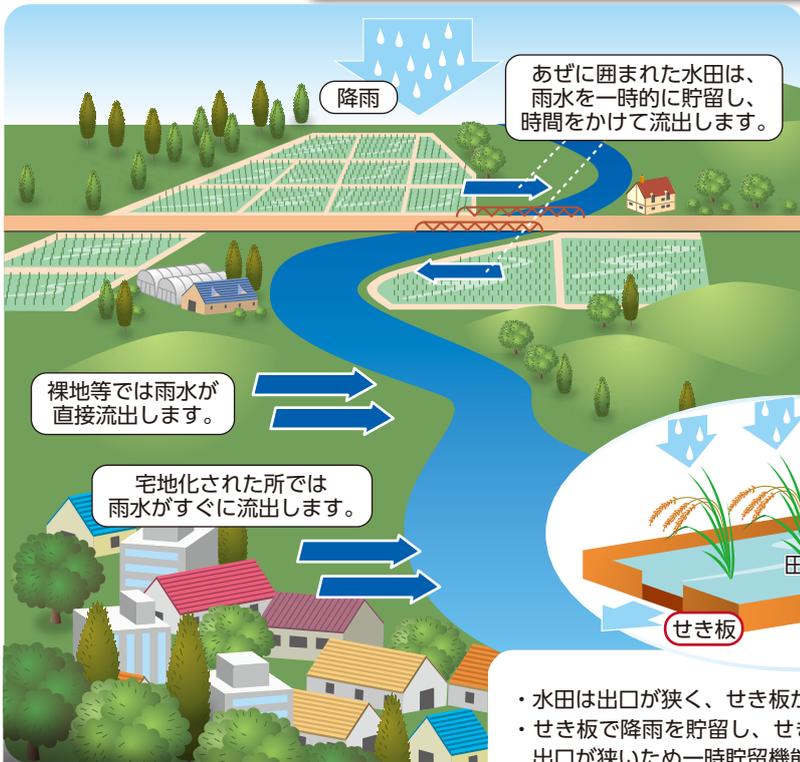


農業・農村の持つ多面的機能

～多種多様な役割 「生産の場」だけではありません～



田畑を区切るあぜに囲まれている水田や水を吸収しやすい畑の土壌は、雨水を一時的に貯留し、時間をかけて徐々に下流に流すことによって洪水を防止・軽減します。河川の流域に水田が多いほどその働きは大きく、

水田や畑は大雨時の河川の氾濫を抑え、洪水を防ぐ働きがあります

洪水防止機能

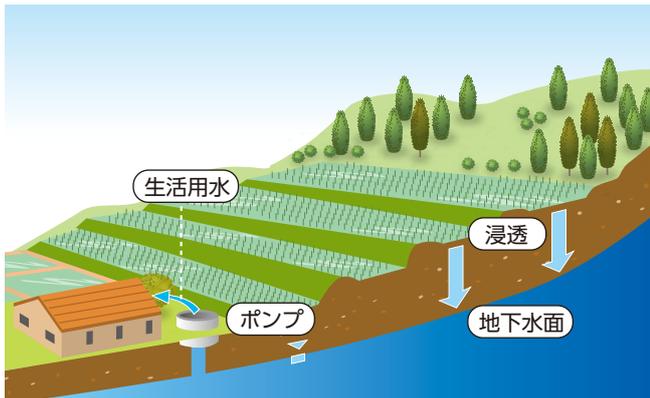
耕作放棄地の発生や宅地化の進行はその機能を低下させることにつながります。

- ・水田は出口が狭く、せき板がある。
- ・せき板で降雨を貯留し、せき板を超える量の降雨も出口が狭いため一時貯留機能を発揮する。

水資源かん養機能

農地には地下水をつくり、河川の水量を安定化させる働きがあります

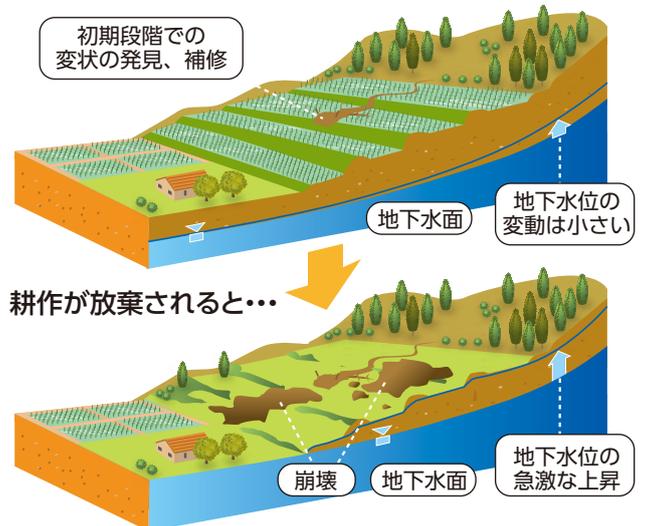
水田に利用される用水や雨水の多くは地下に浸透し、その多くは時間をかけて河川に還元されます。その結果、河川の安定が保たれ、都市用水などに利用されています。また、より深く地下に浸透した水は流域の地下水となり、良質な水として下流地域の生活用水などに利用されています。



土砂崩壊防止機能

棚田や段々畑は地すべりなどの災害を防止します

傾斜地を利用してつくられた棚田や段々畑は、その生産活動を通じた日々の手入れによって斜面の崩壊を未然に防いできました。また、水田は雨水による急激な地下水位の上昇をコントロールする働きがあり、地すべりも防止しています。





良好な景観を形成する機能

ふるさとの自然や景観は、農業が営まれることで維持、保全されています

大地に作物が育つ姿と農家の家屋、その周辺の水辺や里山が一体となってつくり出す「ふるさとの風景」は、日本の気候風土に対応しながら農業の営みを通して育まれた自然の姿です。

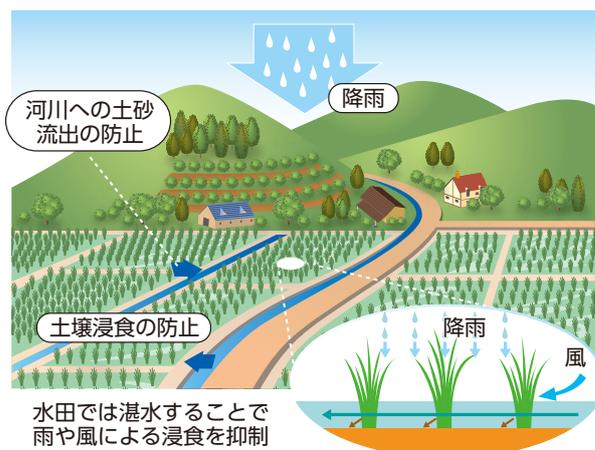


かごしまフォト農美展 「降雨ゼロ」

土の流出を防ぐ機能

耕作された田畑は土壌の浸食を防ぎ、人にやさしい自然をつくります。

傾斜地に切り開かれた田畑は土壌浸食を防ぐ機能を持っています。平坦な水田に蓄えられた水や、畑に植えられた植物の葉や茎が雨や風の影響をやわらげることによって、土砂の流出や飛散を抑え、土埃のない清浄な空気を確保するなど、下流や風下などの環境保全につながっています。



伝統の文化を継承する機能

四季折々の自然の恵みに感謝と祈りを捧げる日本の伝統文化があります

都市の生活の中では失われつつある日本の年中行事や祭事。ほとんどが作物の豊作を祈り、感謝を捧げる祭事などに由来しています。生産と暮らしが一体化した農村では、こうした行事や地域独自の祭りなどが、今も農業活動を通して地域の人々によって伝承されています。



かごしまフォト農美展 「伊作田踊り」

癒やしや安らぎをもたらす機能

農村には都市生活の疲れを癒やし、心と体をリフレッシュさせる保養機能があります

農村には都市生活にはないさまざまな自然や生き物、歴史や文化との出会いがあります。疲れた心や体を癒やす自然空間があります。また、豊かな人間関係や新しい生きがい、楽しみを提供する暮らしがあります。



特集

農村「むら」の魅力

棚田における保全活動

おこぼ
尾木場地区めだかの里保全委員会
-日置市東市来町-



かごしまフォト農美展 「68年棚田を守る」

日置市東市来地域の北側に位置し、標高約300メートルの尾木場集落は、約100年間に渡って守り継がれてきた60枚ほどの棚田「休右衛門新田」が広がっています。この集落は、世帯数が10戸と少なく、耕作する人たちも少なくなっています。しかし、先祖が農家の暮らしをよくするために苦労して開墾し、私たちが受け継いだこの棚田を守ることが私たちの役目だと思っています。棚田を守るためには、石垣の手入れが欠かせません。石垣の間から出てくる草は、はしごに登って取り除きます。

されまし、リピーターの方も多くいらしゃいますよ。棚田のある風景を農村の自然風景そのものだと楽しんで作業されています。昼食で出す、棚田米と地元野菜を使った豚汁も大好評です。尾木場集落の棚田の用水路には、珍しい在来種のフロメダカも数多く生息しています。生活排水の入らない湧水の地区で、ずっと昔の姿のまま生息してきたでしょう。棚田は、農作物を作るだけでなく、さまざまな生き物の住み処にもなっているんですね。私たちにとっては、棚田で耕作することもそこに息づくメダカや他の生き物もいつもそこにある光景です。その風景を壊すことなく、次の世代に引き継いでいきたいと思っていますね。

特集

農村「むら」の魅力

文化・伝統芸能を伝承する活動

なかつがわ
中津川区むらづくり委員会 -薩摩郡さつま町-



中津川地区は、薩摩郡さつま町の中心部から東へ10キロメートルの水田地帯で、自然環境に恵まれた地区です。この地区に伝わる「金吾様踊り」は、「大石神社」の秋季大祭に奉納されま

す。子どもから年配者まで幅広く参加し、見物客も多く訪れます。また、近年では大念仏踊りの復活にも取り組んでいます。昭和30年以降途絶えていた大念仏踊りは全部で44種類の踊りで構成され、そのうち「地割り舞」を平成



特集

農村「むら」の魅力

農村の景観を守る活動

あいらひがし
吾平東環境保全協力会 -鹿屋市吾平町-



すよ。種まきは地域の小学生も参加して、コスモスが咲いたらスケッチ大会を実施しています。「コスモス吾

平東道(コスモスアイランド)」は、地域の子どもの交流の場になっていき、通る人たちにも美しい景観を提供しています。

また、コスモスの種まきが縁で小学生の保護者の方たちが、水士里サークルの農道の整備などの活動に参加してくださるようになりました。農家の方に作業道具などを借りて、一生懸命に作業されています。景観を守るための活動を通して、地域の交流が生まれる、このような有意義な活動を続けていきたいと思っています。

吾平東地区は、鹿屋市吾平町の東部に位置する水田地帯です。農道や水路の管理を農家の方たちだけで行っていました。農家の皆さんの高齢化などの問題があり、参加者が少なくなつたため、地域ぐるみの水士里サークル活動に取り組み始めました。

作業される皆さんは、非常に熱心に取り組んでいます。水路の深いところに生えた雑草やたまった泥などをみんなで協力してきれいにしています。高齢の方もいらつしやいます。長年の経験から安定しない場所でも作業はスムーズですね。

きれいにした農道沿いには、コスモスの種をまきます。1・2キロメートルの距離で両サイドに3メートルのコスモス畑。開花の時期は最高の景色で



22年に復活させました。地割り舞は、その土地を清める神事の踊りですが、復活にあたって踊り手となる若者はそれまで見たこともありませんでした。古老たちの中には「覚えていないから」などを理由に、復活をちゅうちよした方たちもいました。そんな中、ある師匠の家のたんすから出てきた当時の踊りの手書きのメモを見たときには本当に嬉しかったです。伝統の踊りを大切に思っていたのは、自分だけではなく、同じ思いの人がいるんだと思いました。その手書きのメモと記憶を頼りに、踊りの再興が始まりました。復活まで3年かかりましたね。さまざまなお思いをこめた「地割り舞」は、シンとした空気の中、厳かに行われます。踊り手たちは、30分以上休みな

く続く踊りで疲労困憊になりますが、神事に関わっているからか凜とした表情で踊るのが印象的です。復活した踊りを見て、涙があふれました。

古くから伝わる伝統を大事にする一方で、現代つ子にも楽しんでもらう取り組みも進めています。毎年、冬に開催する水田を利用した「イルミネーション」な「かっこ」です。冬の水田に水を張り、イルミネーションが点くと光が水面に反射して幻想的な空間を作り出します。子どもたちにも好評で、昨年で10年目でしたが、どんどん規模も大きくなってきていますね。

伝統的な文化を大事にしながら、新しいものも取り入れていく。伝統芸能を軸に農村・むら・づくりを活性化させています。

